

令和6年度 箱根町総合計画審議会及びまち・ひと・しごと創生有識者会議
意見一覧

項目	意見
子育て支援の充実【施策2】	<p>事業数が多過ぎると思いますので、整理する必要があると思います。名前がわくわくふれあいとかシェアタウンとか分かれていますね。ニックネームはどのようにつけていただいても構わないと思います。しかし、町として統一して、何々はこれというふうに、全体をまとめる必要があると思います。同じことをするグループが必要だとしたら、それは何々グループの1とか2とか、目的を持った区分けをして、無駄がないよう整理した方が効率が良いのかなと思います。どう見ても無駄なコストがかかっているように思いますので、ご検討頂けたらと思います。</p>
	<p>今の点に関連すると、子育て関係に限らず、福祉分野の施策というのは、似たような点があると思います。いろいろな制度やいろいろな仕組みがあり、それぞれに事業が立っている。事業を独立させると、財源と経費との関係が明確になるという利点もありますが、重複が出たり分かりづらくなったりする。おそらく、職員の業務上、同じ方が幾つもの事業を担当されていて、経費の重複というよりはむしろ、大変になってるんじゃないかと思います。職員の方には、より効率的に働けるという視点で整理するというのも必要ではないかと思います。</p>
	<p>町の子育てをしている人の意見を聞くと、箱根町は非常に良いと実際に言っています。これだけの事業があれば、自信を持ってAですと言えばいいのに、何か理由があるのかなと、逆に疑ってしまいます。高く評価できるものは高く評価していただいた方がいいと思います。</p>
	<p>おそらく、目標指標の実績値に引きずられて、A B C Dの評価を決めているかと思います。委員からご意見がありましたので、内部で評価される際、どの程度定性的な要素を加味するかということ、今後検討していただきたいと思います。</p>
	<p>子育てしやすい環境づくりという点に関して、私は民生委員をしていて、外国籍の小さいお子さんが、私の住んでいる仙石原もすごく増えています。外国人のお子さんが1年生に入った時に日本語が全く分からないのでは、やはり質の高い教育というのは難しいと思います。教育は受ける権利があるので、町でもそういうお子さんに対する事業や活動があるといいと思います。</p>
青少年の健全育成【施策12】	<p>先ほど9ページの12番に、青少年関係事業の児童・生徒の参加率が下がっているとございました。実は8ページの8番にあるように、町内の小・中学校児童・生徒の地域行事への参加率は上がっています。昨年65.5%から70.9%ですから、行事やそういうものに参加をしないわけではないと思うので、もう少し子どもたちへの周知をしていけば、青少年関係事業の参加率も上がってくるのではないかと考えました。</p>

項目	意見
	<p>個人的には、Cという評価は低過ぎるのかなと思います。この資料の41ページ、3の項目で概ね計画通り実施できた、がほとんどで、12番については計画通り実施できたとありますが、それでなぜCなのかなと疑問に思いました。タイトルが、施策13文化財の保護と活用ということなので、保護に関しての施策は、例えば、例年通りのことだけしていた、特にやらなかった、だからC。でもそうではなく、担当の方はしっかりやっているのに、なぜCなのかなというのは、理解ができません。あと文化財には、例えば湯立獅子舞は、国指定の重要無形文化財になっていますが、補助やPRに全精力を注いでなかったとか、鎌倉時代から続く石仏について、手をつけないとか、具体的な理由があってCという評価であれば分かります。もう少し自己評価を高くしても良いと思います。少なくともこの文章からCは低いと思います。</p>
文化財の保護と活用【施策13】	<p>おそらくコロナ禍前ですか、関所はきれいに改修し、その整備により、団体客がたくさん来るだろうという想定で40万人の目標を設定したと思うのですが、コロナ禍により団体旅行客がすごく減るという見込み違いがあったことにより、入館者が伸びておらず、また、団体旅行が再び盛り上がってくるということも考えづらい。そうすると多分アプローチを変えていく必要があるのではないかと思います。箱根の場合、自然や景観、歴史を含め、非常に豊かなものがあるので、自然、歴史的なものをアピールし、その際に関所等も見てもらうような売り込み方をしていくということがとても重要ではないかということですね。この施策13は、現在設定されている指標が、どちらかということと文化財の利用面に偏っているので、実績を見ていくとどうしても、B評価やC評価にならざるを得ないというところだと思います。これはもう現行計画では変えるべきではないと思いますので、また次の計画で、どのような方向を目指すかに応じて、目標値なども検討していただきたいなと思います。</p>
総合戦略目標2	<p>ひとつコメントとしましては、学校での勉強が楽しいと感じる生徒の割合が、90%ですごく高いですね。どのように調査をしたのかすごく関心があります。</p> <p>子どもの人数が少ないこともあり、箱根町はとても手厚く丁寧に一人ひとりをみていると思います。</p> <p>私は今週の月曜日に、静岡県の教育振興基本計画という教育分野の計画の評価委員会に出ていましたが、静岡県の子どもの意識はこのような感じではなかったと思います。箱根町はすごく状態がいいのかなという印象を持ちました。</p>
その他	<p>コロナ終息後、やはり箱根町という魅力的な観光地で起業したいというお客様が本当に多く、中でも宿泊だと民泊に関して多くご相談頂いたり、あとは飲食関係でもご相談を頂いています。気になったのは空き家の有効活用を図るというところで、事業主を誘致することで、町の活性化にもつながると思いますが、実際に空いているテナントや物件の一覧のようなものをご提供頂けるのであれば、我々ももっと地域の活性化につながる活動ができるのかなと思います。</p>

項目	意見
	<p>箱根は、誘客、少子高齢化、子どもにスポットを当てると、よくやっているなど感じます。私は新聞社勤務ですが、新年度予算の記事を書く時、例えば何々市町、大きな6本柱でそれぞれ200とかあります。先ほど、総合計画で6つ大きな柱があり36施策、そしてその下に、220~230事業あるのですね。今回感じたことは、やはり市や町を運営するのは大変だなど。教育福祉、建設、これだけのことをしているのだなど良く分かりました。これからもよろしくお願いします。</p>
	<p>仙石原は民泊がすごく多いです。気がついたら向かいのマンションの7割方が民泊になっていたりします。海外の方が、大きな荷物を持って来て、どこに行くのかなあと思っていると、いつの間にか民泊になっている1部屋があります。先日議員さんとの意見交換会がありましたが、仙石原地域では民泊に関して皆さん、相当なクレームを出しています。交番への通報もすごく多いみたいです。だから、ある程度の規制はないのかなと思っていました。知らぬ間に民泊の部屋になっていたり、民泊にしたいくて投資のために買ったとか、そういうことがあるように思います。</p>
その他	<p>民泊がだいが増えてきて、管理人さんがいないので、どこに言っているのか分からないとか電話がつながっても予約センターで、とかそういったこともあるので、無法地帯になっていくと、国立公園箱根が守れないと思います。</p>
	<p>コロナを機に、先ほどから申し上げているように、全てが早く変わってしまいました。10年くらいかけてソフトランディングさせるようなことが2~3年で変わってしまいました。旅行の形態も変わりました。こういう施策等もありますが、評価としては、箱根町は、全部Aだと思います。本来、観光地は住みにくい所です。でも住みやすい観光地ということ、あと安全安心だということ、もう少し町が先頭になって宣伝していただくと良いのではないかと思います。</p>
	<p>現実的には、何でもそうですが予算があって、施策があって、その結果があります。町も相当、シビアにやっていますが現実には財源はないですね。ですから我々はよく言いますが、観光税などをお客様に負担していただくこと。目的をきちんと決めた税金であれば、我々も協力して取りますから、全国で、宿泊税や入湯税などを取っていますよね。そういうことも含めて、やはり財源がないと、町がやっていけなくなってしまうということで、我々も要望がしにくいということもあります。</p>

項 目	意 見
次期計画について	<p>総合としての計画っていう文字どおりのことであれば、もっとシンプルに方針だけを示せばいいのかなと思います。細かい部分は、それぞれ傘下の人が行ってくれば良いことで、箱根はこうするぞということが分かれば良いと思います。例えば箱根町は観光中心ですので、架空の話ですけど、箱根町全体を何とかランド、ディズニーランドとかそういう遊園地みたいにしちゃいましょうとか、そういう方針を示した上で、その中で仕事する人はどういう人たちで町民の人はこれができるかとか、そのような全体的な方針を示していくことに絞っていいのかなと思います。その下の機関で、細かいところを決めていけば良いです。防災に関しては箱根町は切ることができないので、防災など主な趣旨だけ、5つか6つか分かりませんが、その方が非常にシンプルで分かりやすいと思います。</p>
	<p>先ほどの話の追加になりますが、5年10年と区切ると分かりやすいような、目標を立てやすいのかもしれないですけども、10年の計画を立てるには20年30年先が見えていないと立てられないです。ですから、10年にこだわらず、先の話、一体世の中はどういう方向に進んでいるのか、人間の想像を超えるようなことがこれからどんどん出てくると思います。先のことを考えて、レガシーである伝統などをいかにその中に入れ込んでいくか、ということだと思います。10年にこだわる必要は全くないのかなと思います。</p>